



# 高輪だより

令和2年度5月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

「会える日を楽しみにして、待っています」

園長 柿沼 敦子

5月のさわやかな風が園庭の木々の葉を揺らしています。園歌に歌われているように緑が美しい「みどりの高輪幼稚園」です。こいのぼりが気持ち良さそうに風を受けて泳いでいます。しかし、子どもの声のしない幼稚園は本当に寂しく、切なく、子どもたちが声を響かせながら遊ぶ日常が戻ってくる日を心から待ち望んでいます。

幼稚園が休園になってから2か月が過ぎました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため様々のご理解とご協力を頂いていることに心より深く感謝申し上げます。

さて、お休み中のご家庭の様子はいかがでしょうか。おうちの方もお子さんたちも家の中で長い時間過ごしています。幼稚園に通えないことや外に出られないこと、家の中での規制など、我慢することがたくさんあることでしょう。我慢が続くことはあまり良くないことと思います。しかし、このような時にみんなが同じ我慢をして凌ぐという経験は、子どもにとっても大人にとっても大きな学びとなっていると思います。幼いお子さんたちにはまだ難しいかもしれませんが、年長さんぐらいになると、この状況を少し理解できると思います。「我慢もできる」という機会ととらえ、少しでも我慢できたことをたくさん褒めて自信をもたせましょう。その経験は心を強くすることでしょう。おうちの方も大変な状況と思いますが、一緒に凌いで参りましょう。

ニュースでは、過酷な医療現場で尽力されている方々、その医療現場を支援する方々、薬やワクチンを開発する方々、休業を余儀なくされても耐え、ご苦労されている方々、外出自粛を促す様々な映像を配信する方々、このような状況下でも日常の現場で働く方々、それらの方々へ感謝を伝える方々、オンライン活用の企業努力などなど・・・様々な人々が様々な知恵と工夫と心意気でこの正念場を乗り越えようと応援し合い、支え合っている社会が見えています。普段は見えなかった絆が結びついていることを改めて感じる時間となっています。マスク不足になり始めた頃、手作りマスクが送られてきたり、家にはたくさんあるので使ってくださいと市販のマスクが届いたりしました。今まで使い捨てが当たり前と思っていた物の見方や扱い方が変わり、人の優しさや温かさが身に沁みました。

休園はさらに延長となりました。幼稚園ホームページの保護者専用ページでは、職員紹介、製作、体操、歌、手洗いの仕方、オセロ（飼っているウサギ）の様子などを教職員で工夫して動画を配信しています。ご家庭で活用されていることを伺い、大変嬉しく感じております。幼稚園から配信される動画を親子で楽しんで、たくさん笑って過ごしていただきたいと思います。これからもできることを工夫して発信して参ります。保護者の皆さま、幼稚園が再開される時まで、もうひと頑張りお願いします。手洗い、マスク着用、バランスよい食事や睡眠、家でできる運動などの習慣を大切にして健康第一でお過ごしください。緑の高輪幼稚園で園児が「わくわく」と心を弾ませて遊び、温かい人との関わりの中で心を「ぽかぽか」にして、自分らしさを発揮し、「笑顔」が園庭や園舎いっぱいにあふれる日を心待ちにしています。